

LEV0メルマガは、国内外の自動車の環境負荷低減と交通安全に関する情報、新規に開発された環境優良車や国の補助制度等の情報など、広く提供してまいりますので是非ご活用ください。

LEVOメルマガは、配信を希望された方々、LEVOリースをご利用の方々、名刺交換させていただいた方々に配信させていただいております。

■ LEV0からのお知らせ（2件）

- [1] 令和7年度補正予算 商用車等の電動化促進事業
～予算の残額が2割程度に達した場合についてのご案内～(2026.8.26)
- [2] 貨物自動車用ドライブレコーダと安全装置等助成対象機器の選定結果について
- ①令和8年8月度の貨物自動車用ドライブレコーダ選定結果(2026.9.1)
- ②令和8年8月度の安全装置等助成対象機器選定結果(2026.9.1)

- 〔1〕 令和7年度補正予算 商用車等の電動化促進事業
～予算の残額が2割程度に達した場合についてのご案内～

今後、予算の残額が2割程度に達した場合は以下のとおり手続きを実施しますので予めご周知いたします。

- ・予算の残額が2割程度に達したことを機構のHP上で公表した日以降は、申し込み順による審査を行うことはせず、当該日付から30日後までに申し込みのあったすべての申請を対象に審査を行います。
- ・予算残額を超える申請があった場合、以下を優先して採択するなど総合的に判断して決定します。
 - ①初めて申請を行う者
 - ②脱炭素先行地域に選定された地域内の事業所等に導入する者
- ・交付申請から交付決定までの所要日数が通常より長くなる場合がありますのでご注意ください。
- ・交付決定通知書の発出を以て採択通知といたします。
- ・車両と一体的に導入する充電設備の申請の場合は、交付決定後に発注・着工をする必要があるため、早めに申請いただき工事期間に影響が出ないようにご注意ください。

○問い合わせ先

補助事業執行部 商用車等の電動化促進事業

TEL : 03-5944-0883 Email : evhojo@levo.or.jp

充電設備担当 TEL : 03-5341-4728 Email : juhojo@levo.or.jp

- 〔2〕 貨物自動車用ドライブレコーダと安全装置等助成対象機器の選定結果

- ①令和8年8月度の貨物自動車用ドライブレコーダ選定結果
選定審査の結果、2型式（簡易型1、標準型1）を新たに追加し、1型式（運行管理連携型）
の仕様変更がありました。（（公社）全日本トラック協会委託事業）

詳細はこちら

https://www.levo.or.jp/wp-content/uploads/senteikekka_dr20260901.pdf

- ②令和8年8月度の安全装置等助成対象機器選定結果
選定審査の結果、6型式（後方視野確認支援装置3、側方視野確認支援装置3）を新たに追加し、1型式（EMS機器）の仕様変更がありました。（（公社）全日本トラック協会委託事業）

詳細はこちら
https://www.levo.or.jp/wp-content/uploads/senteikekka_anzen20260901.pdf

○問い合わせ先
企画調査部
TEL : 03-3359-9008 Email : shinsa2026@levo.or.jp

■ 海外情報

LEV0は、日本政府指定機関として参加している国際エネルギー機関（IEA）の自動車用先進燃料技術連携プログラム（AMF-TCP）で得られた情報等を出来るだけ早く皆様に提供しています。従って、記事の翻訳は、仮訳であり、また、記事の内容についての事実確認は行っていないことをご了承ください。

《★IEA ブレークスルー・アジェンダレポート2025【第2章 成功の基準とその後の進捗】 (IEA Breakthrough Agenda Report 2025)》

国際エネルギー機関（IEA）と国連気候変動ハイレベル・チャンピオンが共同で、2025年10月に公表した電力、水素、自動車交通、鉄鋼、セメント、建築物、肥料の7つの主要排出分野における2030年までのクリーン技術と持続可能とする解決策を提言している「ブレークスルー・アジェンダレポート2025」から「第2章 成功の基準とその後の進捗（電力、水素、道路輸送）」を紹介します。

要約

IEA「ブレークスルー・アジェンダ レポート2025」第2章は、2030年までにクリーン技術を化石燃料より安価かつ魅力的にするというCOP26合意の実現に向け、電力・水素・道路輸送など主要分野での国際協力強化と進捗管理の枠組みを提示している。各分野では「成功ステートメント」を設定し、定量指標と事例を通じて進捗を可視化しながら、短期行動と長期ビジョンを両立させる構成となっている。また、2035年を見据えた早期の共通目標設定が、投資の確実性向上や政策協調に重要であると強調している。

電力分野では、再エネ導入拡大により排出増加は鈍化しているものの、COP28の「再エネ容量3倍目標」達成には更なる対策が必要と指摘する。低排出電源の導入拡大に加え、送電網連系や蓄電設備への投資強化が重要とされる。道路輸送分野では、乗用車のZEV普及が進む一方で大型車の脱炭素化が遅れており、ZEV政策拡大やグリーン回廊整備、途上国向け支援が必要とされている。さらに、充電規格の国際調和や支払いシステムの簡素化、バッテリーの再利用・リサイクル強化を通じ、EV普及と資源循環を加速させる必要性を示している。

《LEV0コメント》

IEAブレークスルー・アジェンダ2025は、道路輸送分野の脱炭素化にはZEV導入に加え、充電インフラ整備や国際協力が重要としています。我が国でも商用車の電動化とCO2排出量の見える化への対応が求められており、LEV0による脱炭素化・CO2排出量算定支援の推進が重要と考えます。

○目次

- 第2章 成功の基準とその後の進捗
 - 2030年における成功を定義する必要性
 - 2035年を見据えて
 - 電力
 - 移行の現状
 - 成功事例：電力
 - 水素
 - 移行の現状
 - 成功事例：水素
 - 道路輸送
 - 移行の現状
 - 成功事例：道路輸送

<https://www.lev0.or.jp/wp-content/uploads/vol.86kiji202609.pdf>

※IEA（International Energy Agency：国際エネルギー機関）
IEAは、経済協力開発機構（OECD）の外局機関で、1974年にOECD理事会の決定により設立されました。石油危機に端を発し、石油エネルギー節約、石油代替エネルギーの開発促進等、石油消費国間におけるエネルギー問題への対応を主な目的としています。

◆ LEV0のコンサルティング事業案内！

●CO2排出量算定支援
荷主からのCO2排出量の算定依頼に対応できるよう、CO2排出量の簡易算定ツールの操作方法や、算定に必要なデータの収集手法など、CO2排出量算出に関するサポートを提供します。
<https://www.lev0.or.jp/consulting/co2/>

●エコドライブ支援
エコドライブを計画的かつ継続的に推進するとともに安全運転を確保するため、デジタコなどの運行管理機器で取得したデータを活用した支援を行っています。
<https://www.lev0.or.jp/consulting/ecodrive/>

●EVトラック・バス導入支援
EVトラック・バスの導入を検討する事業者に対し、ヒアリングによる簡易検討から現地調査を踏まえた詳細調査まで、導入検討を支援するコンサルティングサービスです。
<https://www.lev0.or.jp/consulting/ev/>

○問い合わせ先
企画調査部
TEL：03-3359-9008 Email：c-support@lev0.or.jp

【コンサルティング事業お問合せフォーム】
https://www.lev0.or.jp/consulting/consulting_form/

◆ LEV0ニュースインタビュー募集！

LEV0ニュースは、自動車運送事業者をはじめとする関係者の方々に、LEV0の活動状況、新規に開発された環境優良車や国の補助制度の情報などを提供する広報誌です。

LEV0ニュースでは、BEV、PHEV、FCV、NGVなどの環境優良車やデジタコなどのEMS機器のほかドライブレコーダ等、お使いになられた効果や感想などの記事を、LEV0ニュースへ掲載させて頂ける事業者を募集しております。

●LEV0ニュース最新号
<https://www.lev0.or.jp/library/newslev0/>
<LEV0ニュース記事募集係 TEL：03-3359-9008>

<本メルマガの登録解除はこちらから>
<https://www.lev0.or.jp/library/magazine-cancel/>

<その他のご意見、お問い合わせはこちらへ>
E-mail：emlmag-kanrinin@lev0.or.jp

一般財団法人 環境優良車普及機構
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル
HP: <https://www.lev0.or.jp/>

本メルマガの無断転載を禁じます。
